

平成25年度通常総会及び講演会

平成25年5月17日（金）13:30～
文京区シビックセンター スカイホール

特定非営利活動法人

全国木材資源リサイクル協会連合会

平成25年度通常総会及び講演会

第1部 通常総会 13:30~15:00

第2部 講演会 15:30~16:30

講師 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会会長
筑波大学名誉教授 熊崎 実 氏

演題 「木質バイオマス固定買取制度の課題と展望」

第3部 懇親会 17:00~
後楽園飯店
(東京ドームホテル 青いビル2階)



次 第

1. 開会の辞 中野 光 理事
(北日本木材資源リサイクル協会 副代表理事)
2. 挨拶 鈴木 隆 理事長
3. 議長選出
4. 議事録署名人選出
5. 議 事
 - 第1号議案 平成24年度事業報告について
 - 第2号議案 平成24年度収支決算及び監査結果について
 - 第3号議案 平成25年度事業計画(案)について
 - 第4号議案 平成25年度当初予算(案)について
 - 第5号議案 定款の改正について
 - 第6号議案 役員の改選について
 - 第7号議案 調査広報推進委員会の検討結果についてその他(報告事項)
 - (1) 寄付金の募集について
 - (2) F I Tの木質バイオマス証明認定について
6. 閉会の辞 山口昭彦 副理事長
(東海木材資源リサイクル協会会長)

平成24年度事業報告

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人全国木材資源リサイクル協会連合会

事業の成果:木材資源のリサイクルについて、地域社会及び各団体との緊密な関わりを積極的に推進すると共に、各種調査の実施及び講演会の開催等により知識の高揚を図り、会員の経営安定と地域の環境保全に努め、循環型社会の推進に寄与した。

1. 研修・イベント開催に関する事業	支出額 843 千円
(1) 工場視察会 関東木材資源リサイクル協会と共催で新設の工場視察会を実施した。 フルハシ・バイオ(株)平塚工場 8月22日 参加者 60名	
(2) 講演会 ・「木質バイオマスに係る取組みについて」 講師 資源エネルギー庁 新エネルギー対策調整官 石引裕貴男氏 5月25日 亀戸文化センター 参加者 60名 ・産業技術総合研究所中部センター第22回研究会 「震災復興への取組み」講師 専務理事 弘山知直 24年6月22日 名古屋市北区 ・木質バイオマスエネルギー利用推進協議会第5回研究会 「燃料用木質チップの規格について」講師 専務理事 弘山知直 24年12月7日 新橋東洋海事ビル	
(3) 環境展等への出展 「エコプロダクツ2012」に出展し、木質チップ活用の照会や連合会組織の広報に努め、一般や関係者の理解と協力を求めた。 これにより、6協会の事務局のほか、関東協会会員8社にスタッフの協力を得た。 12月13～15日 東京ビッグサイト 3日間の来場者 178,501人	
(4) シンポジウム Biocomp2012 (第11回環太平洋木質バイオマス複合材料シンポジウム)出展 品質規格のパネル展示を行った。 11月27～30日 静岡市 連合会事務局のほか、萬世リサイクルシステムズ(株)・フルハシEPO(株) (株)中野町チップがスタッフとして協力した。	

2. 情報の収集・伝達に関する事業	支出額 556 千円
<p>(1) ホームページ等通信手段活用し、幅広く情報を提供した。 通常総会議事録 ユーザー懇談会議事録等を掲載</p> <p>(2) 連合会通信を12回配信し、全国木材資源リサイクル協会連合会及び各地域協会の 行事予定など、定期的に知らせた。</p> <p>(3) 関係機関を訪問するほか、講習会などに参加し、情報収集に努めた。 5月30日 バイオマス・エキスポ2012 8月10日 森のエネルギー研究所 9月7日 東京都立産業技術研究センター 1月23日 再エネフォーラム 2月14日 バイオマス推進協議会 2月15日 放射性廃棄物セミナー</p>	
3. 要望・陳情に関する事業	支出額 593 千円
<p>(1) 木材資源のリサイクル推進に係る制度改善及び課題解消に必要な案件について、自 民党や環境省等4省庁に要望を行った。 1月29日</p> <p>(2) 「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に対応するため、「発電利用に供する木 質バイオマスの証明に関する自主行動規範」を策定し、木質バイオマスの証明に係る バイオマス事業者等認定を行うこととした。 「発電利用に供する木質バイオマスの証明に関する自主行動規範」8月29日告示 以降「実施要領」「施行細則」を順次定め、説明会・勉強会を開催した。</p> <p>(3) ユーザー懇談会 「再生可能エネルギー特別措置法の運用について」を中心にマテリアル・サーマ ルユーザーとの意見交換を行った。 12月18日 池袋勤労福祉会館 マテリアル業界 日本繊維版工業会、ボード会社、製紙会社 サーマル業界 製紙会社、セメント会社、売電会社 国行政 環境省、国交省、林野庁、資源エネルギー庁 連合会関係 連合会、北日本、関東、東海、近畿、中四国、九州協会 その他マスコミ 参加者70名</p>	

4. 調査・研究・開発に関する事業

支出額 1246 千円

(1) 木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会の開催

調査及び広報に関する手法等を検討する。

- 第1回会議 6月14日 京橋プラザ
- 第2回会議 8月22日 平塚神奈中ホテル
- 第3回会議 1月11日 中央区産業会館
- 第4回会議 3月22日 中央区産業会館

(2) 木質チップ市況価格の見える化ワーキンググループ

国機関、バイオマス発電事業を計画している事業者等から、木質チップの市況価格に動向について、業界団体として一定のオフィシャルな回答ができるよう求められているが、適切な対応が取れていないことから、何らかの形で公表できないかを検討するため、ワーキンググループを設置した。

- 第1回会議 9月27日(木) 人形町区民館 論点整理
10月4日(木) 全国木材チップ工業連合会ヒアリング
全千連事務所(渋谷)(中平、弘山)
- 第2回会議 10月17日(水) 日本橋公会堂
見える化の必要性と背景整理、既に公表している団体の実績と問題点
- 第3回会議 11月12日(月) 日本橋公会堂 品質規格との整合性検討
- 第4回会議 12月 3日(月) 堀留町区民館
調査方法、公表内容と方法についての検討
12月 7日(金) 木質バイオマスエネルギー利用推進協議会に出席
東洋海事ビル地下1階会議室(新橋)(出席者:弘山)
- 第5回会議 12月18日(火) 池袋勤労福祉会館
調査広報委員会へ報告案について検討

ワーキンググループ構成員

中平 有次(座長)	住友林業(株)東京営業部チップグループ主席
桑野 俊	萬世リサイクルシステムズ(株)常務取締役
木村 明博	フルハシEPO(株)関東支社部長代理(東海協会)
瀧川 充朗	日本繊維板工業会常務理事
中塚 誠	住友大阪セメント(株)グループリーダー
伊藤 孝典	北日本協会事務局
大野 一郎	関東協会事務局(11月まで)
三砂 和浩	近畿協会(木材開発(株))
岡崎 博紀	中四国協会((有)赤碓清掃)
河野 秀彦	九州協会(中山リサイクル産業(株))
鈴木 隆(オブザーバー)	全国協会連合会理事長
弘山 知直(オブザーバー)	全国協会連合会専務理事

計 5 回にわたり検討を行い各地域協会へフィードバックして議論したが、現時点でも賛否両論があり、公表に踏み切るのは時期尚早と判断し、新たにメンバーを見直し、ワーキンググループパート2として平成25年度も検討を続けることとした。

(2) 木質チップの動向調査

マテリアル・サーマルユーザーに木質チップ需要の動向について調査を行い、その結果を各協会に伝達したほかユーザー懇談会においても公表した。

(3) 会員実態調査

木質チップ生産会員を対象に、地域協会ごとの生産量、品目別取扱量、需要先の生産割合などの調査を実施し、その結果をホームページに掲載した。

(4) 東日本大震災による木質チップへの影響を調べるため、木質チップの分析調査を行った。

6月12日 宮城県仙台市井土保管場、山形県山形市のチップ工場、米沢市のボード工場で試料採取

5. 協調・合意・連携に関する事業

支出額 954 千円

(1) 韓国木材リサイクル協会との交流会を行い、友好関係を深めた。

7月10日 ソウル

(2) 各協会の事業活動に協調するとともに、総会等イベントに参加し会員とのコミュニケーションを図った。

5月11日 中四国木材資源リサイクル協会

10月19日 東海木材資源リサイクル協会

(3) 国・自治体施策への協力

適時関係省庁を訪問し、情報交換を行った。

4月11日 経産省

5月10日 環境省・国交省

6月27日 千葉県企業庁

7月 4日 林野庁・環境省

8月10日 林野庁・環境省

10月 9日 林野庁

10月24日 資源エネルギー庁

3月 4日 環境省

(4) 組織の強化事業

会員不在県の解消と会員の拡大に向け、地域協会と連携した。

しかし、不在県解消には至っておらず、引き続き25年度も継続して解消に努める。

(5) 共販事業

協会会員が委託する環境計量や製品の品質分析費について、会員特別価格で行うことができ、その一部が連合会及び委託した会員の所属協会に還元された。

(6) 連合会運営事業

連合会活動を的確に運営するため、定期的な理事会、総会等を開催し、各種事業の推進を図った。

6. 啓もう・啓発に関する事業	支出額 536 千円
<p>(1) 木質リサイクルチップの品質規格について関係機関に内容の説明と協力を依頼したほか業界誌や業界新聞等に掲載依頼をし、広報に努めた。</p> <p>(2) WG により検討した「東日本大震災における災害木くず運用の提案」については、国や被災自治体への紹介、業界誌への掲載や学会等において講演を実施した。</p>	

第2号議案 収支決算について

特定非営利活動法人全国木材資源リサイクル協会連合会

活動計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目			合計
I 経常利益			
1 受取会費			
正会員受取会費	3,019,000		
賛助会員受取会費	782,000		
		3,801,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金	3,940,000		
3 事業収益			
自主事業収益			
委託事業収益	82,587		
4 その他利益			
受取利息	908		
雑収入	25,000		
経常利益計		4,048,495	
収入合計			7,849,495
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	1,295,800		
通勤手当等	123,340		
法定福利費	47,126		
人件費計	1,466,266		
(2)その他経費			
旅費交通費	521,610		
地代家賃	1,164,142		
会議費	84,698		
調査費	480,150		
諸会費	0		
広告宣伝費	188,380		
印刷費	195,207		
報償費	0		
HP管理費	10,500		
災害援助費	0		
消耗品費	108,182		
通信費	105,888		
備品費	195,001		
雑費	111,498		
支払い手数料	15,309		
荷造運賃	81,810		
その他事業費	0		
その他経費計	3,262,375		
事業費計		4,728,641	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	1,700,000		
通勤手当等	282,880		
人件費計	1,982,880		
(2)その他経費			
地代家賃	129,349		
消耗品費	12,020		
通信費	11,765		
備品費	21,667		
支払手数料	1,701		
雑費	12,389		
荷造運賃	9,090		
その他経費計	197,981		
管理費計		2,180,861	
経常経費計			6,909,502
当期正味財産増減額			939,993
前期繰越正味財産額			3,375,931
次期繰越正味財産額			4,315,924

(注)今年度はその他の事業は実施していません。

平成24年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会

平成25年3月31日現在

科 目	金 額		(単位:円)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	94,297		
普通預金	4,571,497		
流動資産合計		4,665,794	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,665,794
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
人件費	328,000		
預り金	21,450		
支払手数料	420		
流動負債合計		349,870	
2 固定負債			
借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			349,870
III 正味財産の部			
正味財産合計			4,315,924
負債及び正味財産合計			4,665,794

平成24年度事業内容												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会			○		○					○		○
価格の見える化WG						○	○	○	○×2			
理事会	○				メール	○				○		
総会		○										
講演会		○										
ユーザー懇談会									○			
工場見学会					○							
アンケート調査				○	○							
展示イベント出展								○	○			
韓国木材協会交流				○								
平成25年度事業計画(案)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会			○				○			○		○
価格の見える化WGⅡ	○	○	○	○	○	○						
理事会	○				○			○				
総会		○										
講演会		○										
ユーザー懇談会									○			
工場見学会					○							
アンケート調査				○	○							
展示イベント出展									○			
韓国木材協会交流					○							
先進都市視察研修会							○					
意見交換会				○								
賛助会員懇談会								○				
協会長会議	適時											

特定非営利活動法人

全国木材資源リサイクル協会連合会

理事長 鈴木 隆 殿

監 査 報 告 書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの事業報告及び

活動計算書・事業会計貸借対照表・事業会計財産目録について監査

したところ、その内容はいずれも適正なものと認めました。

平成 25 年 4 月 19 日

監 事

田 中 一 正



監 事

矢 嶋 明



第3号議案 平成25年度事業計画（案）

○事業計画の概要

平成25年度は、平成23年の東日本大震災の被災地のがれき処理、復旧・復興支援が一段落したことを受け、さらに進んだ木質バイオマス利用の推進に貢献するものとする。

一方、平成24年7月に「再生可能エネルギー調達に関する特別措置法」が施行されたことに伴い、再生可能エネルギー固定買い取り制度が新たに発足したことに加え、地球温暖化対策税（環境税）等温室効果ガスの削減が一段と求められることになった。

これを受けて、連合会としても、「発電利用木質バイオマス証明」の事業者認定団体となるべく、平成24年8月に「自主行動規範」を策定した。

既に前年度中に当連合会が承認した事業者は、十数件に達しているが、平成25年度はこの申請もピークになると思われるので、この審査を適正に行えるよう、努力を続ける必要がある。

これらの活動を通じて、国の主導するバイオマス資源の活用について、当連合会の役割に対する期待は、ますます大きくなっていることに併せて、その成果が温室効果ガスの削減にも大きな貢献となることから、連合会としてもバイオマス資源の確保と良好な品質の確保に心掛け、より良い環境の創造に寄与して行くこととする。

1. 主な事業計画

(1) 活動基本方針

平成25年度の連合会の活動方針は、昨年と同様「展望」、「刺激」、「利点」、「発展」を事業計画の柱として取り組んでゆくこととする。

(2) 東日本大震災からの復興と木質チップの性状の統一的な検査方法の検討

今年度は、東日本大震災により発生したがれきの処理という面では一段落したことから、今後の復興に向けて、提供する木質チップの品質的な安定に向けて、監視体制を徹底して行く。

依然として塩分や、放射性物質に対する懸念があり、平成24年度に提案した迅速で安価な検査方法についてさらに検証して行く必要がある。

(3) 木質チップ市況価格の見える化の検討

平成24年度にワーキンググループを構成し、集中的に協議してきたが、試案の提案には至ったものの、市況価格の公表そのものに賛否両論があり、最終結論には至っていない。

しかし、固定価格買い取り制度のスタートに伴い、既に国機関や関係機関から市況価格についての問い合わせは具体的な要望になっており、緊急に対応を求められている。

このため、バイオマス発電事業者や、ボイラー設備メーカーを加えた新たなワーキンググループを結成し、本年度上半期までに一定の結論を出すべく、検討を始めた。

(4) 木質リサイクルチップの品質対策

平成 23 年度から広報に努めてきた「木質リサイクルチップの品質規格」については、各界から概ね高い評価を受けているが、その後「再エネ法」の施行に伴い、固定買い取り制度の対象として、間伐材や剪定枝の取り扱いが増えていることから、生木類の品質についての規格の統一が求められている。

また、この固定買い取り制度では、木質バイオマス燃料を供給する他の団体との規格の整合も必要なことから、他団体とも協議しながら、現規格を見直す必要がある。

また、一部において出荷した木質チップの混入物が当規格の趣旨を大きく損なうような事例がユーザーから提起されており、この実態と対策についても検討することとする。

さらに、ここ数年継続的に実施してきた C C A の含有量調査についても、今年度集中的に調査を行い、一定の取りまとめができるようにする。

(5) 再生可能エネルギー固定価格買取制度への対応

平成 24 年 7 月から再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートした。

これを受けて当連合会では、平成 24 年 8 月に「自主行動規範」を策定し、「発電利用木質バイオマス証明」の事業者認定団体となった。主として各協会の会員からの認定申請に対し、審査委員会により審査し、承認する事務が新たに追加され、すでに多くの事業者を承認している。

本年度は、この申請が大幅に増えることが予想されるので、さらに適正な審査、適法性の監視ができるよう、統一的な研修を行う。

また、国が推進するバイオマス発電所の建設に対し、連合会として提案を国に具申しているが、この個別の申請に対する審査過程でも、地域の状況に応じた意見が述べられるよう、リアルタイムでの情報把握に努めてゆく。

(6) 先進地域視察

今後のエネルギー政策、木質バイオマス利用の展開に関して、国内外に多くの先進事例が報告されており、それらは現地を確認し、見聞きしなければ本来の姿が見極められない例が多くなっていることから、連合会として視察団を構成し、最もふさわしい地域の視察を行う。

(7) 会員不在県の解消と会員の拡大

平成 23 年度に、九州協会の設立や北海道から正会員の加入があつて以降、北陸地域や四国地域に重点的に働きかけを行ってきたが、いまだ不在県は存在している。すそ野を広げ、国の行政機関や、ユーザー等対外的にも影響力のある組織にするため、今後も、地域協会と協力し、会員不在県の解消や拡大に向け一層の努力をして行くこととする。

なお、北海道や北陸地域で、入会の意思表示があった場合、連合会は北日本協会や東海協会と連携し、既存協会と一体化するか、新たな協会の設立を促すか、速やかに協議することとする。

(8) 寄付金

会員各位には、日頃から寄付金の拠出に支援と協力をお願いしているが、本年は、事務局員が1名増員になったこと、チップ性状調査、先進地視察等、大きな事業を予定していることから、目標金額を300万円に設定し支援をお願いすることとした。

(9) 共販事業

現在、各協会の会員が委託した分析費の10%を手数料として連合会に還元されており、そのうち5%相当分をさらに、委託した会員の所属する協会へ還元している。

比較的安定して委託が行われているものの、目標額1千万円（還元額100万円）には遠く及ばないため、未委託の協会は是非検討されたい。

なお、平成24年度から開始されたバイオマス認定手数料が新たに収入源となったが、これはこの制度を担保するための調査費に充てられるべきものであるため、その扱いについては各協会の裁量に委ねられているが、当面、他の会計とは別に扱うべきものである。

(10) 各種イベントへの出展

毎年12月に東京ビッグサイトで開催される「エコプロダクツ」に出展し、連合会の組織や事業内容の広報に努め、木質リサイクルチップの活用等について一般への理解の一助とする。

【参考】

○ 主な事業

- ① 東日本大震災の復興支援と木質チップ性状の測定法等の統一。
- ② 木質リサイクルチップの品質規格についての広報と見直し。
- ③ 市況価格の「見える化」について検討する。（調査広報委員会にて検討を行う）
- ④ 再生可能エネルギー固定価格買取制度事業への参加及び国の発電事業への協力。
- ⑥ 連合会組織を一層強化するため、会員不在県の解消及び会員拡大に努める。
- ⑦ 木質バイオマス利用の今後の展望を占うため、
 - (1) 関係団体の実施計画を調査し、各協会を通じ会員に情報を公開する。
 - (2) 会員が実施している事業内容を研修する。
 - (3) 国内外の先進地域を訪問し、実態を現地にて視察・研修を実施する。
- ⑧ 自立に向けた活動資金を確保するため、寄付金募集のほか共販事業等を調査・検討する。
- ⑨ 環境展等に出展し、連合会組織の事業活動の広報に努める。

第4号議案 平成25年度当初予算(案)について

特定非営利活動法人全国木材資源リサイクル協会連合会
活動予算書(案)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額		合計
I 経常利益			
1 受取会費			
正会員受取会費	3,195,000		
賛助会員受取会費	1,008,000		
入会金	150,000		
受取会費計	4,353,000		
2 受取寄付金	3,000,000		
3 事業収益			
委託事業収益	80,000		
4 その他利益	20,000		
経常利益計		7,453,000	
収入合計			7,453,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	2,100,000		
通勤手当等	100,000		
法定福利費	100,000		
人件費計	2,300,000		
(2)その他経費			
旅費交通費	1,000,000		
地代家賃	630,000		
会議費	500,000		
調査費	2,000,000		
研修費	500,000		
諸会費	400,000		
業務委託費	500,000		
広告宣伝費	350,000		
印刷費	300,000		
報償費	30,000		
HP管理費	10,500		
災害援助費	30,000		
消耗品費	135,000		
通信費	150,000		
備品費	180,000		
雑費	108,000		
支払い手数料	18,000		
予備費	104,212		
その他経費計	6,945,712		
事業費計		9,245,712	
2 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	1,700,000		
通勤手当等	350,000		
人件費計	2,050,000		
(2)その他経費			
地代家賃	70,000		
消耗品費	15,000		
通信費	250,000		
備品費	20,000		
支払手数料	2,000		
雑費	12,000		
予備費	104,212		
その他経費計	473,212		
管理費計		2,523,212	
経常経費計			11,768,924
当期正味財産増減額			△ 4,315,924
前期繰越正味財産額			4,315,924
次期繰越正味財産額			0

【参考資料】

収入	H24当初予算	H24収入	H25予算案		正会員会費内訳
正会員	3,019,000	3,019,000	3,195,000	7社	北日本協会 ¥863,000
賛助会員	792,000	732,000	1,008,000	14社	関東協会 ¥1,035,000
入会金		50,000	150,000	3社	東海協会 ¥429,000
受付寄付金	2,050,000	3,940,000	3,000,000		近畿協会 ¥336,000
その他収入	70,500	108,495	100,000		中四国協会 ¥223,000
計	5,931,500	7,849,495	7,453,000		九州協会 ¥165,000
前期繰越額	3,375,931	3,375,931	4,315,924		三基開発 ¥144,000
合計	9,307,431	11,225,426	11,768,924		計 ¥3,195,000

支出

	H24当初予算	H24支出①	H25予算案②	増減②-①	
人件費 給与手当	1,300,000	1,295,800	2,100,000	804,200	
通勤手当等	370,000	406,220	450,000	43,780	
人件費 役員報酬	2,040,000	1,700,000	1,700,000	0	
法定福利費	279,000	47,126	100,000	52,874	
旅費交通費	830,000	521,610	1,000,000	478,390	
地代家賃	505,000	1,293,491	700,000	-593,491	うち保証金等 ¥749,820
会議費	100,000	84,698	500,000	415,302	
調査費	500,000	480,150	2,000,000	1,519,850	
諸会費	250,000	0	400,000	400,000	
研修費			500,000	500,000	
業務委託費			500,000	500,000	
広告宣伝費	220,000	188,380	350,000	161,620	
印刷費	200,000	195,207	300,000	104,793	
報償費	30,000	0	30,000	30,000	
HP管理費	10,500	10,500	10,500	0	
災害援助費	30,000	0	30,000	30,000	
通信費	250,000	117,653	400,000	282,347	
消耗品費	210,000	120,202	150,000	29,798	
備品	300,000	216,668	200,000	-16,668	
支払手数料	11,000	17,010	20,000	2,990	
雑費	650,000	123,887	120,000	-3,887	
予備費			208,424	208,424	
事務所移転		90,900		-90,900	
その他事業費	1,000,000				
	9,085,500	6,909,502	11,768,924	4,859,422	

第5号議案 定款の改正について

平成24年8月1日、事務所を移転したことから、以下の通り定款の変更を行う。

定款

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都中央区日本橋横山町1番4号に置く。

変更

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都中央区日本橋小伝馬町16番8号に置く。

第6号議案 役員の改選等について

平成25年3月31日で、現行役員の任期が満了となることから、次の通り改選したい。

1. 現役員名簿

平成23年4月1日～平成25年3月31日

連合会	氏名	協会	所属	備考
理事長	鈴木 隆	北日本協会 代表理事	(株)クリーンシステム	留任
副理事長	藤枝 慎治	関東協会 会長	萬世リサイクルシステムズ(株)	〃
副理事長	山口 昭彦	東海協会 会長	フルハシ EPO (株)	〃
副理事長	鷹野 賢次郎	近畿協会 会長	木材開発(株)	〃
副理事長	片岡 重治	中四国協会 代表理事	(有)片岡工務店	〃
副理事長	中山 智	九州協会 会長	中山リサイクル産業(株)	新任
専務理事	弘山 知直	全国連合会専務理事		留任
理事	中野 光	北日本協会 副代表理事	遠野興産(株)	〃
理事	矢嶋 明	関東協会 副会長	住友林業(株)	監事へ
理事	石田 謙治	東海協会 会計監査	岐阜代用燃料(株)	留任
理事	船越 登	近畿協会 副会長	関西チップ工業(株)	〃
理事	河本 一成	九州協会 理事	ホクザイ運輸(株)	〃
監事	田中 徳彦	関東協会 理事	(株)タケエイ	退任
監事	田中 一正	中四国協会 監事	(有)まるふく商事	留任

2. 役員の新任及び交代

新役職	氏名	協会	備考
理事	中山 智	九州協会 (中山リサイクル産業(株))	交代
理事	櫻井 慶	北日本協会 (仙台環境開発(株))	新任
理事	徳山 重男	関東協会 ((株)タケエイ)	旧監事と交代
監事	矢嶋 明	関東協会 (住友林業(株))	旧理事

以上はすでに理事会で承認を受けているが、いずれも役員として新任になるので、総会での承認が必要である。

3. 事務局職員の就任

事務局職員を新たに採用したので、承認を得たい。

事務局長	原 信男	関東協会専務理事	関東協会と兼務
事務局員	十川 有子	関東協会事務局員	〃

以上は、理事会の承認を経て理事長が任命する。

第7号議案 調査広報推進委員会の検討結果について

「木質チップ市況価格の見える化」パートⅡにおける論点について
平成24年度の連合会の重点課題として検討し、一定の成果を得たが、さらに
焦点を絞って、方向付けと着地点を充分議論する必要がある。

これまでの主な論点。

- 1 目的の明確化
 - (1)連合会に対してどのような要望があり、どの範囲で応える必要があるか。
 - (2)これまでに指摘された問題点をどのようにクリアするか。
- 2 公表の範囲と方法
 - (1)提示された案のどれを本命とするか。
 - (2)表示方法をどうするか。
- 3 根拠となる調査の方法
- 4 品質規格との関係
 - (1)林野庁（推進協議会）の検討とどのように関わるか。
 - (2)F I Tとの整合の観点から、どの部分を改正する必要があるか。
- 5 他の団体の規格との相違点とその根拠の整理。
- 6 公正取引上の整合性

「木質チップ市況価格の見える化」検討ワーキンググループ（Ⅱ）構成員案

団体名	役職	氏名	備考
萬世リサイクルシステムズ(株)	常務取締役	桑野 俊	座長
住友林業(株)	木材建材事業本部 チップグループマネージャー	矢吹 賢二	
日本繊維板工業会	専務理事	瀧川 充朗	
(株)吾妻バイオパワー	企画・販売部	眞下 剛雄	
(株)ファーストバイオス	企画調整室長	佐々木恵無	
荏原環境プラント(株)	営業業務グループ長	山本 伸也	
J F Eエンジニアリング(株)	バイオマス事業部・部長	山田 眞樹	
全国木材資源リサイクル協会連合会	専務理事	弘山 知直	
北日本木材資源リサイクル協会	事務局	伊藤 孝典	
関東木材資源リサイクル協会	専務理事	原 信男	事務局
東海木材資源リサイクル協会	事務局	木村 明博	
近畿木材資源リサイクル協会	事務局	三砂 和浩	
中四国木材資源リサイクル協会	事務局	岡崎 博紀	
九州木材資源リサイクル協会	事務局	河野 秀彦	

* 今後、検討課題によって臨時の構成員の出席を求めることがある。

WG（Ⅱ）作業スケジュール（予定）

第1回会議	4月5日（金）	論点整理
第2回会議	5月8日（水）	求められている事項の整理 品質規格検討の進行状況把握
第3回会議	6月5日（水）	品質規格との整合性検討
第4回会議	7月4日（水）	調査方法・内容の検討
第5回会議	8月上旬	アンケート調査の実施と回答状況の整理
第6回会議	9月上旬	検討結果の整理と提案
	9月下旬	調査広報委員会へ中間報告
	10月中旬	理事会に報告

環境調査手数料実績表（平成24年度）

単位：円

	連合会	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	計	入金額
4月分			9,800					9,800	11,865
5月分		1,500	8,350					9,850	10,342
6月分	10,300	1,500	11,700	41,800				65,300	68,565
7月分		1,500	5,200					6,700	7,035
8月分		2,300	4,300					6,600	6,930
9月分		8,900	17,900	3,200				30,000	31,500
計	10,300	15,700	57,250	45,000	0	0	0	128,250	136,235
10月分		3,800	5,100					8,900	9,345
11月分		1,500	3,100					4,600	4,830
12月分		1,500	3,400					4,900	5,145
1月分		3,800	3,300					7,100	7,455
2月分		6,300	2,500					8,800	9,240
3月分		6,100	2,500					8,600	9,030
計	0	23,000	19,900	0	0	0	0	42,900	45,045
合計	10,300	38,700	77,150	45,000	0	0	0	171,150	181,280

年2回に分けて、税抜金額の半分を協会へ還元（手数料は連合会負担）

寄付金のお願い

新緑の候、貴社に於かれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は連合会事業に格別のお引き立てご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

全国木材資源リサイクル協会連合会は平成4年に設立以後、平成16年に特定非営利活動（NPO）法人として認証され、皆様のご支援により、お陰様で来年NPO認証10周年を迎えます。

皆様方に感謝申し上げます、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災や最近の再生可能エネルギーへの関心の高まりから、木質バイオマス活用への注目度が高まっており、当連合会の事業費も増大の一途をたどっています。

このため、年会費の負担額の見直し等、一部対策を図ってまいりましたが、会費のみでの事業運営は困難な状況になってまいりました。

一方、今後の連合会の位置付けとして、認定NPO法人化を旨とすることが最適と考え、平成26年度に仮認定を申請する予定であります。この申請には、3,000円以上の寄付者100名以上が要件となっております。

つきましては、厳しい経済情勢の中ではありますが、この度の寄付募集の趣旨にご理解とご賛同をいただき、格別のご協力、御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成25年5月17日

特定非営利活動法人

全国木材資源リサイクル協会連合会

理事長 鈴木 隆

寄付金募集要項

1. 寄付金の用途 全国木材資源リサイクル協会連合会活動支援
2. 寄付金募集額 300万円（予定額）
団体 1口2万円
個人 1口3千円
3. 募集方法 全国木材資源リサイクル協会連合会ホームページに掲載
4. 募集期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日
5. 寄付の受付 ①連合会事務局で受付
②銀行でのお支払い
6. 申込方法 ①連合会事務局で受付
申込書に必要事項をご記入の上、現金でお支払いください。
引き換えに領収証をお渡しいたします。
②銀行でのお支払い
 - 1) 寄付金額を含めた必要事項を別途申込書にご記入の上、寄付金担当宛てまで郵送又はFAXください。
 - 2) 当連合会より受領印を押した申込用紙を郵送又はFAXにて返送いたします。
 - 3) 受領印を押した申込用紙が届いてから下記銀行口座に御振込みください。
 - 4) 領収書が必要の方は、申込用紙の4.その他連絡事項にご記入お願いいたします。
7. 取扱銀行 みずほ銀行 平井支店 普通預金 2211725
口座名：全国木材資源リサイクル協会連合会
8. 税法上の優遇措置
全国木材資源リサイクル協会連合会は、法に定める特定非営利活動法人ですので、当連合会への寄付金は、税法上の優遇措置を受けることができます。
※税法上の優遇措置について
法人としての寄付する場合
寄付金を支出した日を含む事業年度の確定申告の際、当連合会が発行する「領収書」を提出してください。
これにより、当連合会への寄付金は他のへの寄付金とは別枠で損金額に算入されます。
但し、限度額は（資本金額の0.25%＋所得金額の2.5%）÷4となります。
関連法令条文（法人税法第37条4項、法人税法施行令第77条1項）
個人として寄付する場合
特に、税優遇はございません。
9. 御辞退が無い限りは、ご寄付頂いたことについて当連合会のホームページで順次掲載させていただきます。（イニシャルや匿名での掲載も承ります。）
10. お問い合わせ
特定非営利活動法人 全国木材資源リサイクル協会連合会
担当 弘山、椎津
E-mail: info@woodrecycle.gr.jp
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-8 共同ビル61号
電話番号 03(6661)1529
F A X 03(6661)2069

平成 年 月 日

寄付金申込書

特定非営利活動法人
全国木材資源リサイクル協会連合会
理事長 鈴木 隆 様

寄付金申込者

<input type="checkbox"/> 団体
〒
住所 _____
会社名・団体名 _____
代表者名 _____
電話番号 _____ FAX _____

<input type="checkbox"/> 個人
〒
住所 _____
ご氏名 _____
電話番号 _____ FAX _____

特定非営利活動法人全国木材資源リサイクル協会連合会の活動支援として、下記のとおり寄付します。

記

1. 寄付口数・金額 _____ 口 金 _____ 円也
2. 払い込み予定日 平成 年 月 日 頃
3. 法人の場合、担当者連絡先

氏名 _____

所属 _____

メールアドレス _____

4. その他 連絡事項

--

寄付金受付状況

49 社

197 口

¥3,940,000

平成24年4月26日～平成25年3月31日現在

口数	北日本協会	関東協会	東海協会	近畿協会	中四国協会	九州協会	正会員 賛助会員	合計
50	1							1
25		1		1				2
10				1				1
5	5	2				1	1	9
3	1							1
2	2	1					1	4
1	8	6	12	2	2		1	31
会社数計	17	10	12	4	2	1	3	49
口数計	90	43	12	37	2	5	8	197
金額計	¥1,800,000	¥ 860,000	¥ 240,000	¥ 740,000	¥ 40,000	¥ 100,000	¥ 160,000	¥3,940,000

各協会別木質チップの集計

	北日本	関東	東海	近畿	中四国	九州	合計
会員数	63	42	12	10	13	6	146
取扱量(万 t)	43	126	62	46	7	18	296
今年度会費(千円)	863	1035	429	336	223	165	3027

協会に所属しない正会員 1 社

(2)FIT の木質バイオマス証明認定について

木質バイオマス証明の事業者認定業者

平成 25 年 5 月 1 日現在

【北日本木材資源リサイクル協会】

認定番号	社名	代表者	住所	工場名	認定日
24 全木リ北 001	やまがたグリーンリサイクル(株)	鈴木 誠	山形県村上市金谷 1224-11		平成 24 年 11 月 26 日
24 全木リ北 002	遠野興産(株)	中野 光	宮城県石巻市北村字滝ノ沢 44 - 3	石巻工場	平成 25 年 1 月 19 日

審査委員

氏名	役職	所属
伊藤孝典	北日本協会事務局	
鈴木 隆	連合会理事長	(株)クリーンシステム
中野 光	連合会理事 (委員代理)	遠野興産(株)
宇佐美洋一	北日本協会理事	(有)県南チップ

木質バイオマス証明の事業者認定業者

平成 25 年 5 月 1 日現在

【関東木材資源リサイクル協会】

認定番号	社名	代表者	住所	工場名	認定日
24 全木リ関 001	(株)山芳園	中澤朗久	横浜市都筑区池辺町 1588	本社工場	平成 24 年 12 月 14 日
24 全木リ関 002	(株)クワバラ・パンぷキン	桑原一男	さいたま市中央区本町西 4-11-10	ほくさいウッドリサイクル (加須市)	平成 24 年 11 月 15 日
24 全木リ関 003	萬世リサイクルシステムズ(株)	藤枝慎治	横浜市金沢区鳥浜町 17 番地 3	本社工場	平成 24 年 12 月 12 日
24 全木リ関 004	(株)駿河サービス工業	高橋通哲	静岡県御殿場市保土沢 2 3 1 - 1	松田工場 (神奈川県松田町)	平成 25 年 1 月 23 日
24 全木リ関 005	(有)峡南環境サービス	河澄秋芳	山梨県南アルプス市戸田 916-18	南アルプス総合リサイクルプラント	平成 25 年 3 月 27 日
24 全木リ関 006	(株)清水インダストリー	清水秀美	群馬県高崎市金古町 1804-5	榛名工場	平成 25 年 3 月 4 日
24 全木リ関 007	亀井産業(株)	亀井寿之	埼玉県熊谷市三ヶ尻 4236	熊谷工場	平成 25 年 3 月 29 日

審査委員

氏名	役職	所属
矢嶋 明	連合会理事	住友林業(株)
弘山知直	連合会専務理事	
桑野 俊	関東協会理事	萬世リサイクルシステムズ(株)
木村明博	関東協会理事	フルハシ EPO(株)
橋本正志	関東協会理事 (委員代理)	(株)タケエイ
中平弘之	関東協会理事 (委員代理)	東武環境センター(株)

木質バイオマス証明の事業者認定業者

平成 25 年 4 月 15 日現在

【九州木材資源リサイクル協会】

認定番号	社名	代表者	住所	工場名	認定日
24 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	福岡県糟屋郡須恵町大字植木 81-5	須恵工場 大分工場 グリーンパーク本匠	平成 24 年 12 月 11 日
24 全木リ九 002	ホクザイ運輸(株)	河本一成	福岡県北九州市小倉北区西港町 72-30	本社リサイクル工場	平成 25 年 1 月 24 日
24 全木リ九 003	(株)中央環境	前田正道	長崎県長崎市西海町 2 7 3 9 - 4	本社リサイクル工場	平成 25 年 2 月 8 日
24 全木リ九 004	(有)九州パーク運輸	林 弘道	福岡県朝倉市杷木星丸 765 番地の 1	添田工場	平成 25 年 3 月 21 日
25 全木リ九 001	中山リサイクル産業(株)	中山 智	福岡県糟屋郡須恵町植木 81-5	箱崎工場 佐賀工場	平成 25 年 5 月 1 日

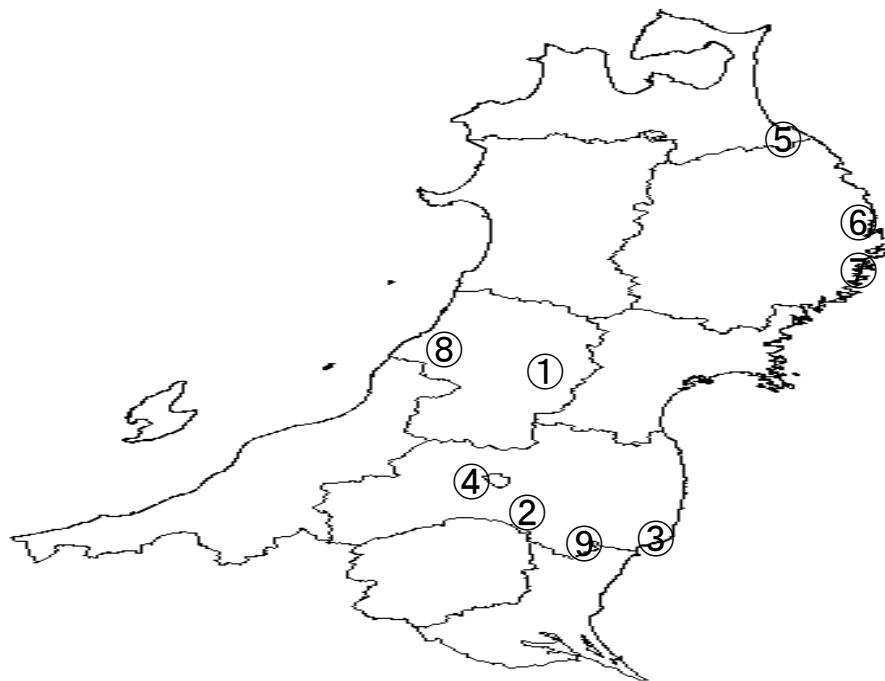
審査委員

氏名	役職	所属
中山 智	連合会理事	中山リサイクル産業(株)
河本一成	連合会理事	ホクザイ運輸(株)
国廣耕一	九州協会監事	木材開発(株)
上田恭久	九州協会会員	中央環境(株)
小原隆二	九州協会会員	大東商事
河野秀彦	九州協会事務局	中山リサイクル産業(株)

木質バイオマス発電において、FIT申請した既設ボイラーと新規に竣工された若しくは計画中(建設中含)のボイラー一覧

北日本木材資源リサイクル協会

	社名	場所	チップ使用 (t/月)	発電規模 (kW)	備考
既設・申請済	1 やまがたグリーンパワー(株)	村山市	2,000	2,000	
	2 白河ウッドパワー(株)	白河市	10,000	10,000	
	3 日本製紙(株)勿来工場	いわき市	9,000	15,000	
新規・稼働中	4 グリーン電力会津(株)	会津若松市	5,000	5,000	間伐材、一般木材
計画中	5 住友林業(株)	八戸市	5,000	5,000	間伐材、一般木材等
	6 (株)ウツティかわい	宮古市	7,500	5,800	自社端材、間伐材等
	7 宮古市ブルーチャレンジプロジェクト協議会	宮古市	1,900	3,000	売電の他、熱供給(農園業)、水素発生
	8 (株)トーセン	鶴岡市		2,000	自社端材、間伐材、一般木材
	9 (塙町)	東白河郡塙町	9,300	12,000	ども。
	10				
	11				
	12				
	計		28,700	32,800	



バイオマス発電計画

資料提供:近畿木材資源リサイクル協会

地区	名称	使用量 t	kW		操業	総投資額	売上	
青森県平川市	津軽バイオエナジー	72,000	6,250	間伐・未利用材、りんご剪定枝	2015年	20-30億円	13億円	タケエイG
岩手県宮古市	宮古市ブループロジェクト	25,000	3,000	未利用材、製材残材				
岩手県宮古市	ウッディかわい	60,000	5,800		2013年	28億円		
山形県酒田市	サミット酒田パワー	189,000	50,000	林地残材、製材残材、建廃材、輸入、PKS	2015年12月			国内7万t、
福島県白河市	ホルツエナジージャパン	23,100	2,500	間伐材	2013年7月			
福島県会津若松市	グリーン発電会津	60,000	5,000	未利用材、リサイクル材	2012年8月	23億円		ノーリン93%、 グリーンサーマル7%
栃木県那須郡	県北もくざい協同組合	35,000	2,000		2013年以降			
埼玉県日高市	太平洋セメント		49,500	建廃材	2013年2月			
山梨県大月市	大月バイオマス発電	120,000	10,000		2016年2月	50億円		
静岡県島田市	特種東海製紙		85,000		2015年	80億円		6万kWhは自社使用 2.5万kWhをFIT
静岡県富士市	王子製紙	60,000	40,000		2013年	90億円		
長野県塩尻市	長野県林業再生プロジェクト		12,000			70億円		
愛知県知多郡	フルハシEPO	15,000	1,000	リサイクル材				
岐阜県瑞穂市	岐セン	10万m ³	5,000	間伐材2/3、製材端材1/3	2015年4月		11億円	
三重県松阪市	三重エネウッド協同組合	54,000	5,000	間伐材	2014年秋	20億円		
奈良県吉野市	グリーンサーマル							
兵庫県赤穂市	日本海水	288,000	16,000	間伐材、製材残材		65億円		
岡山県真庭市	真庭バイオマス発電		10,000	間伐9万t以上＋一般木、廃材、PKS	2015年4月	41億4千万円	21億円	年間79200MWh
広島県呉市	// 桑原工場		2000→7000					
山口県岩国市	ミツウロコ岩国発電所	140,000	10,000	未利用材4.2万t、PKS				
高知県高知市	イーレックス		20,000	PKS	2013年7月	40億円		
高知県高知市	土佐グリーンパワー	7~8万t	5,000			30億円以上		10万m ³
高知県高知市	グリーンエネルギー	93,000	6,500	間伐材、製材残材	2014年9月			
福岡県田川市	麻生セメント		12,000					
福岡県北九州市	?		10,000	石炭混焼				
福岡県	九州バイオ		5,000					
長崎県松浦市	電源開発		5,000					
佐賀県佐賀市	味の素		5,000					
大分県日田市	グリーン発電大分	70,000	5,700	林地残材	2013年11月	20億円	11億円	10万m ³
大分県日田市	日田ウッドパワー		12,000	未利用材				FIT移行

中四国地区バイオマス発電ボイラー一覧

中四国木材資源リサイクル協会

(計画)

真庭バイオマス発電 (岡山県真庭市)

10,000kw 2015年稼働予定

エ・ビジョン (島根県江津市)

10,000kw 2015年稼働予定 20万t/年

土佐グリーンパワー (高知県高知市)

5,000kw 2015年稼働予定

中国木材本社 (広島県呉市)

18,000kw 2014年稼働予定

(稼働中)

ミツウロコ岩国発電所 (山口県岩国市) 6万t/年

中国電力新小野田 (山口県山陽小野田市) 2,5万t/年

住友大阪セメント高知 (高知県高知市) 4,4万t/年

平成25年 4月30日

「木材サミット連絡会」

参加団体 代表者 各位

世話人代表 富田文一郎

事務局 山本 拓、海老原 徹

安藤 正史

「第1回木材サミット連絡会」の開催日程について

木材サミット連絡会の日程調査にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

日程調査の結果、第1回木材サミット連絡会は、下記の通り開催することになりましたのでご連絡申し上げます。全ての団体の都合の良い日程を設定することができませんでしたので、この日程に都合が悪いとご回答の団体におかれましては、代理の方等のご出席をご手配下さいますと幸甚に存じます。

会議の内容と資料などにつきましては、後日送付いたしますが、ご質問などがございましたら下記の連絡先にお問い合わせをお願いします。

末筆ながら、貴団体のますますのご発展を祈念申し上げます。

記

1. 開催日時：平成25年 6月19日（水）13：00～16：00

2. 開催場所：新木場タワー 15F-A 会議室（ジャパン建材株式会社）

〒136-8405 東京都江東区新木場一丁目7番22号

電話：03-5534-3818

新木場駅徒歩7分（東京メトロ有楽町線、JR京葉線、東京りんかい高速鉄道）

（案内図が2ページ目にありますので、ご利用ください。）

3. 連絡の宛先：「木材サミット検討会事務局」宛

Eメールアドレス：summit-prep@jwta.or.jp

FAX：03-5295-2105



受信: 日本全国木材資源リサイクル協会連合会 鈴木 理事長 殿

発信: (社)韓国木材再活用協会

いつもお世話になっております。心から感謝しております。

今回私どもの協会が日本全国木材資源リサイクル協会連合会に要請して、貴連合会の暖かい配慮をいただき、東京地域木材リサイクルウッドチップ工場の見学の件が突然(社)韓国木材再活用協会の内部事情により、不本意ながら成立出来なかった上に、即時正式に訪問取消しを伝えられなかったことを誠に心から御詫び申し上げます。

今回の事で鈴木理事長を始め、関係した方々に大きなご迷惑をお掛けいたしましたこともう一度御詫び申し上げます。

関係した方々にも暖かくなにとぞ御宥恕くださいませ。

また、私どもの協会は今後も日本全国木材資源リサイクル協会連合会と続けて交流を持たせていただけたら大変嬉しいと思われれます。

今回の私どもの礼を失ったこと御

詫び申し上げます。

2013.05.06.

(社)韓国木材再活用協会 より

